

臨床研究等の情報公開

研究課題名	膵臓癌トルソー症候群患者の告知から看取りまでの1ヶ月
研究機関	青森市民病院 がん相談支援センター
研究内容	膵臓癌トルソー症候群の患者が、告知から1カ月後に永眠された。全身状態が不安定なため医療者から提案できなかった在宅看取りを、働き盛り・子育て世代の30歳代家族が葛藤を繰り返しながら希望された。家族の絆の強さを再確認させられる事例であったため、その関わりをふり返り報告する。
実施期間	研究倫理委員会承認日～2024.10.30
対象者	A氏、60歳代女性。30歳代長男夫婦と乳児期の孫と4人暮らし。X日膵臓癌肝転移のステージ4と診断されたが、まもなく心筋梗塞併発し緊急入院となった。更に入院後、脳梗塞も発症しトルソー症候群と診断された。A氏は告知から1ヶ月後自宅にて永眠された。
実施方法	相談記録や電子カルテの記事記録を参照し、医療チームとして経緯および介入を振り返る。
参加撤回の自由	患者は亡くなってまだ日が浅く、家族の心情としては時期がまだ早すぎるため連絡を取ることは避けた方がいいと考えた。(学会の倫理規定参照)事例をまとめるに当たり、個人が特定される様な情報は利用せず公開も行わない。
問合せ先	青森市民病院 がん相談支援センター 一戸 真紀 青森県青森市勝田1丁目14番20号 Tel 017-734-2171 内線 9222 がん相談支援センター